

すずき 鈴木 エドワード 建築家

1947(昭和 22)年～2019(令和元)年

1. 経歴・狭山市とのかかわり



ドイツ国籍の父ヴィルヘルム・ヘルツと母政子(旧姓鈴木)の長男として狭山市入間川(稲荷山)に生まれる。狭山市立入間川小学校に2年生まで通い、3年生から高校卒業まで渋谷のセントメリーズインターナショナルスクール(寄宿舎)で過ごす。週末には西武電車で稲荷山に帰宅した。自然豊かな稲荷山公園で過ごした日々は鈴木にとってふるさとの原風景であったという。

この頃、両親が経営する米車のディーラーで、母親に同行し訪問した都内の高級住宅街との出会いが建築家への道に繋がったと語っていた。

1966年、米国ノートルダム大学入学。1975年、ハーバード大学大学院修了(アーバンデザイン建築学修士)。大学院在学中、バックミンスター・フラー&サダオ/イサム・ノグチ スタジオに在籍し、「宇宙船地球号」で知られるフラーの思想に影響を受ける。1975年帰国後、丹下健三都市建築設計事務所にて在籍。1977年、鈴木エドワード建築設計事務所を設立した。代表作である「JR 東日本さいたま新都心駅舎」(2000年)は国内外で様々な賞を受賞した。また、2000年竣工のエコスクール狭山市立入間川小学校建設の際にも関わりがあったと語っていた。更なる活躍を期待されるなか、2019年9月、脳卒中で急逝。享年71。

2. 主な業績 — 代表的な受賞作品等 —

- ・ 警視庁渋谷警察署宇田川派出所(1985)
- ・ 上野松坂屋(東京都台東区 1985)
- ・ JR 東日本 赤湯駅舎・大曲駅舎(南陽市 1993・大仙市 1997)
- ・ JR 東日本 さいたま新都心駅舎(さいたま市 2000)
- ・ 東関東自動車道酒々井PA(上下線)(酒々井町 2002)
- ・ JR 東日本 東京駅構内 銀の鈴待合い広場(2002)
- ・ EDDI'S HOUSE(ダイワハウスと共同開発 2003)
- ・ UNITED・WORLD・COLLEGE・ISAK ジャパン(軽井沢町 2014)
- ・ 第31回世界天才会議「特別天才賞」受賞(2017)



(JR 東日本 さいたま新都心駅)

3. 特筆

鈴木は、自然に敬意を払い持続可能な環境デザインを目指した。西洋建築を学び、自然と共存する東洋の心地良さを融合させた「インターフェイス」という空間を取り入れた。また、物理学にも貢献し原子構造のモデルを発表し、国内外の大学等で講演を行った。さらに、趣味も多彩で、トライアスロンやバスケットボールを楽しみ、特に絵画については、建築家にならなかつたら画家になったと本人が言うほど本格的であった。デッサンや、百合子夫人と出会ってから始めたという墨絵は、チャリティーでも多数購入され、映画「燃えよ剣」にも使用された。幼少の頃の作画も多く残されている。自然を愛し、小さきもの、隣人を愛おしむ鈴木のエッセンスはいつも穏やかで、著名人との交友やCM出演も多かった。

〈参考資料〉・『GoD DESIGN 神のデザイン哲学』(小学館 2013・2017)・鈴木エドワード建築設計事務所HP
〈インタビュー〉高橋百合子氏・JR 東日本さいたま新都心駅長・鈴木エドワード建築設計事務所難波寿治氏